

ノーベル賞受賞者の白川教授がおっしゃった言葉の中に、  
「卒論を書くからには、そのテーマで学校一と胸がはれないと」  
というのがあったような。  
今、まさに卒論としてまとめるべく研究をやっているわけですが、  
到底、その域には達せなさそうです。  
かといって、学究的なことでなく、  
実際の実装などといった技術の面で考えても  
おそらく高専などを出た人には勝てないでしょう。  
なんだか、とっても中途半端な今の状態。  
とりあえずは目の前のことを期日まであがいてみる、  
くらいのことしかできないのですが ...  
それって意味があるのかなあ。